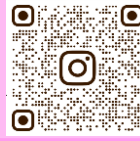
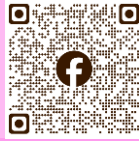




Hello, Hong Kong!

宮崎県香港事務所通信
2024年10月 vol.17



香港FoodExpo 8年ぶり出展

8月15～17日で開催された総合食品見本市「Food Expo PRO 2024」。26カ国・地域から約700社が出展し、日本からは約200社が出展するアジア最大級のイベントです。8年ぶりの出展となる宮崎県ブースには、4事業者（神楽酒造(株)、(株)ひむか農園、(株)FLAP、南日本酪農協同(株)）が参加しました。

期間中、本県ブースには約260名のバイヤー等が来場し、44件の個別商談が実施されました。中にはその場で商談が成立したケースも。今後の取引拡大が期待される案件もあり、各出展企業の皆さんは日本帰国後もメール等で商談を継続されています。



宮崎県ブース
(ジェットロ輸出支援PFジャパンパビリオン内)



個別商談会の様子



商品説明会の様子



飲食店関係者による産地視察

10月9～11日 香港のレストランシェフや日本食材卸売業者を招へいし、産地視察を実施しました。

これは、宮崎の農畜水産物や加工品の産地に対する理解を深めていただき、香港におけるレストランでの食材採用や定番化、採用店舗拡大による、販路の拡大及び輸出量の増加を目指すものです。

ミシュラン星付き店を含む7名の香港シェフ及び卸売事業者が宮崎牛、みやざき地頭鶏、水産物、青果物、焼酎等のほ場や加工施設を視察し、その場で試食も行いました。

参加者のほとんどが初めての来県。いずれの視察先でも生産者の説明をうなずきながら聞く姿は真剣そのもの。佐土原ナスのほ場では、生のままのスライスを試食し、その甘さに驚いていました。

飲食店でメニューを考える際、産地のイメージを持ち、生産者の顔を思い浮かべられることは、料理人にとっても重要なポイントです。

今後、各飲食店において食材採用の検討を進めていただく予定となっています。



佐土原ナスほ場 | 生で食べられるナスに驚くシェフ



へべすほ場視察 | 収穫体験も実施



鮮魚加工場視察 | 血抜き有・無の水産物食べ比べ

香港・広東省での旅行博に出展

7月17日から7日間、香港ブックフェアが開催されました。人口750万人の香港で期間中延べ約100万人が来場する夏休みの一大イベント。会場となる香港コンベンション・エキシビションセンター周辺は大変な人出です。

本県もスポーツ・レジャー部門に出展。6月の香港国際旅游展に続き、青島の黄色いポストを再現し、来場者に自分や家族宛ての手紙を投函していただきました。

ブース運営では、香港事務所と連携協定を結んでいる香港中文大学專業進修学院で日本語を学ぶ学生12名が学校カリキュラムの一環としてインターンでお手伝い。宮崎の観光地にも詳しくなり、

「卒業したら本物の黄色いポスト見に行きます」とうれしい一言もありました。

また9月13日から3日間は、広東省広州市で行われたCITIE広東国際旅游産業博覧会に5年ぶりの出展。コロナ後の訪日旅行者の伸びが著しい中国本土の方々に宮崎の観光スポットやグルメをアピールしました。

9月20日からは広州ー福岡の直行便が毎日1便運航されています。東京・大阪等の都市圏以外にも、より文化的な体験を求めて旅行する方も増えている中、知名度の向上とともに、現地の人により魅力的に映る豊かな自然や地域の魅力の伝え方を工夫する必要がありそうです。



香港ブックフェア宮崎ブース



熊本・宮崎・鹿児島合同PRステージ（香港）



広東省での出展

宮崎から高校生がやって来た

8月28日～31日宮崎・香港国際交流事業の一環として、4人の高校生が香港にやってきました。

香港の小中高一環校、セントマーガレット小中学校で日本語を学ぶ同年代の学生さんと交流。チームに分かれて「日本と香港両方に関係のあるものをショッピングモール内で30分で買ってきなさい」などのミッションに挑戦。お互いの学生生活を紹介したり、連絡先を交換したり、いい友達もできたようです。

このほか、街を歩きながら様々な文化的背景の人が行き交う街並みや、社会課題となっている高額な家賃についても肌で実感。

最初は緊張していた買い物も、知っている英語を使って徐々にできるように。4日間で大きく成長して戻っていきました。



地元の学生と交流



食堂で香港スタイルの定食



大都会の眺望をバックに



飲茶で一息

香港では旧暦の8月15日を「中秋節」といって、月餅（げっぺい）というお菓子を家族で食べながら月をめで、団らんする習慣があります。その祝い方たるや、日本の十五夜の何倍も気合が入っています。

7月も半ばになると月餅商戦が始まり、街中の至るところに巨大広告が張り出され、お菓子店は特設コーナーを作って月餅を売り出します。玩具店や市場では飾り物のランタンが季節限定の目玉商品として扱われています。

中秋節当日、香港人は仕事を早めに切り上げて帰宅。一家で外にごちそうを食べに行くケースも多いそうで。地下鉄もこの日は夜通し運転で市民の移動をサポートします。

そんなこんなでみんな夜更かしするからか、中秋節の翌日は法定の休日となっています。

当日はコンビニの店員さんやビル警備の人にも「中秋節おめでとう」と声をかけられました。「明けまして」以外にも「おめでとう」と言える習慣があるって素敵ですね。（坂）

